

令和4年度進行管理・評価シート  
添田町 歴史的風致維持向上計画(平成26年6月23日認定)  
(最終変更 令和4年2月25日)

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)

1. 法定協議会及び支援連携体制について ----- 1

②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)

1. 景観計画の策定に向けた取り組み ----- 2

③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)

1. 英彦山神宮参道保存整備事業・ ----- 3  
英彦山神宮参道修景整備事業
2. 中島家住宅活用整備事業 ----- 4  
(添田本町等地区憩い広場整備事業・トイレ棟等整備事業)
3. 中村家住宅保存活用整備事業 ----- 5
4. 英彦山区域歴史的風致形成建造物修理事業・ ----- 6  
添田本町等区域歴史的風致形成建造物修理事業
5. 添田公園整備事業 ----- 7
6. 公共施設修景整備事業 ----- 8
7. 案内板等整備事業 ----- 9
8. 普及啓発イベント事業 ----- 10
9. 歴史的古文書保存活用事業 ----- 11
10. 民俗芸能文化財等伝承支援事業・まちづくり団体育成支援事業・ ----- 12  
まちづくり団体設立支援事業
11. 児童・生徒に対する意識向上推進事業 ----- 13

④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)

1. 民間団体への助成・支援 ----- 14
2. 民間団体と連携・協力した取組 ----- 15

⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)

1. 町広報「歴まちコラム」他 町内歴史文化に関する報道 ----- 16

⑥その他(効果等)(様式1-6)

1. 「添田町歴史的風致維持向上計画」掲載事業の進捗状況 ----- 17

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2) ----- 18

令和4年度進行管理・評価シート  
組織体制

	評価対象年度	令和4年度 現在の状況
項 目		
法定協議会及び支援連携体制について		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

本計画の推進、実施にあたっては、計画策定時同様にまちづくり課文化財係が事務局を担い、歴史まちづくり法第11条に基づく添田町歴史的風致維持向上計画推進協議会において計画推進や計画変更、円滑な事業の実施に向けた協議を行い、事業を推進することを基本とする。  
 計画の推進や事業の実施に際しては、国や福岡県の指導を仰ぎながら、庁内の関係各課との連絡調整を行いつつ、事業対象となる文化財の所有者や周辺住民等と協議の上、一体となって事業を推進する。

定性的・定量的評価

令和4年度においては、法定協議会である『添田町歴史的風致維持向上計画推進協議会』を、令和4年5月18日及び令和5年3月22日の計2回対面(ハイブリッド方式)にて開催し、指導・助言を仰いだ。

進捗状況	実施・検討にあたっての課題と対応方針
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

法定協議会『添田町歴史的風致維持向上計画推進協議会』の開催状況

開催日	審議内容
第17回 令和4年5月18日	(1).【報告】添田町歴史的風致維持向上計画の軽微な変更について (2).【協議】令和3年度 実施事業の進行管理・評価シートについて (3).【協議】添田町景観計画(仮称)策定及び「第2期 添田町歴史的風致維持向上計画」について
第18回 令和5年3月22日	(1).【報告】令和4年度「添田町歴史的風致維持向上計画」関連事業、文化財関連事業の進捗状況 (2).【協議】令和4年度進行管理・評価シート (3).【報告】添田町歴史的風致維持向上計画 総括評価シート (4).【協議】第1期計画総括・第2期計画取組方針 (5).【報告】添田町景観計画の策定状況 (6).【協議】令和5年度「添田町歴史的風致維持向上計画」関連事業、文化財関連事業の事業計画



第17回 添田町歴史的風致維持向上計画推進協議会 (R4.5.18開催)



第18回 添田町歴史的風致維持向上計画推進協議会 (R5.3.22開催)

令和4年度進行管理・評価シート  
重点区域における良好な景観を形成する施策

	評価対象年度	令和4年度
項 目		現在の状況
景観計画の策定に向けた取り組み		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容  
 本町の山間地域は英彦山をはじめとする豊かな自然に囲まれた集落景観、麓の添田駅周辺は中低層の市街地景観が形成されており、引き続きこれらの景観を維持していく。  
 特に、重点区域として設定されている英彦山区域や添田本町等区域は、脈々と受け継がれてきた固有の景観を後世に継承していくため、歴史・文化を尊重した景観形成を図ることが求められる。  
 令和3年度中に景観行政団体へ移行済みであるため、令和4年度より景観法に基づく景観計画を策定する。

定性的・定量的評価

「景観計画」の策定に向けて、景観に関する住民アンケートを実施し、庁内関係課の課長及び係長による協議・検討を行うとともに、有識者等により構成される「添田町景観計画策定委員会」を2回開催し、町内の景観特性の把握や課題の整理を行った。

進捗状況	実施・検討にあたっての課題と対応方針
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



【第2回 庁内全体会議】(R4.11.10開催)



第1回 景観計画策定委員会(R4.9.21開催)

【庁内職員における会議】

開催日	内容
令和4年8月25日	景観計画の概要と住民主体の「景観まちづくり」について 添田町らしい「景観まちづくり計画」のすすめ方について
11月10日	住民アンケート結果の速報について 添田町らしい「景観まちづくり計画」のすすめ方(基本方向)について
令和5年1月16日	庁内関係各課へのヒアリング
2月 3日	景観基礎調査のまとめ 景観まちづくり計画について

【景観計画策定委員会】

開催日	内容
令和4年9月21日	【報告】添田町が景観計画策定に取り組む経緯 【協議】役員選出 【協議】添田町における景観計画策定のすすめ方について 【協議】住民アンケート(案)について
令和5年2月27日	【説明】「みんなで景観まちづくり計画」の構成について 【説明】景観基礎調査について 【協議】添田町の景観特性と課題 【協議】景観まちづくりの基本理念・基本方針 【協議】良好な景観保全・形成のためのルールづくりについて

令和4年度進行管理・評価シート

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度 現在の状況
項 目			
英彦山神宮参道保存整備事業 ・ 英彦山神宮参道修景整備事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成29年度～令和5年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容

**【英彦山神宮参道保存整備事業】**  
町道英彦山線である英彦山神宮参道の石段や石塔等の工作物の保存整備を行う。また、これらの保存に影響を及ぼす、参道沿いなどにあるツツジ等の樹木の間伐を行うとともに、小広場の整備を行う。

**【英彦山神宮参道修景整備事業】**  
英彦山神宮参道にあり、景観を阻害している水道パイプの地中化や歴史的景観を尊重した色彩を用いた消火設備に修景整備する。

定性的・定量的評価

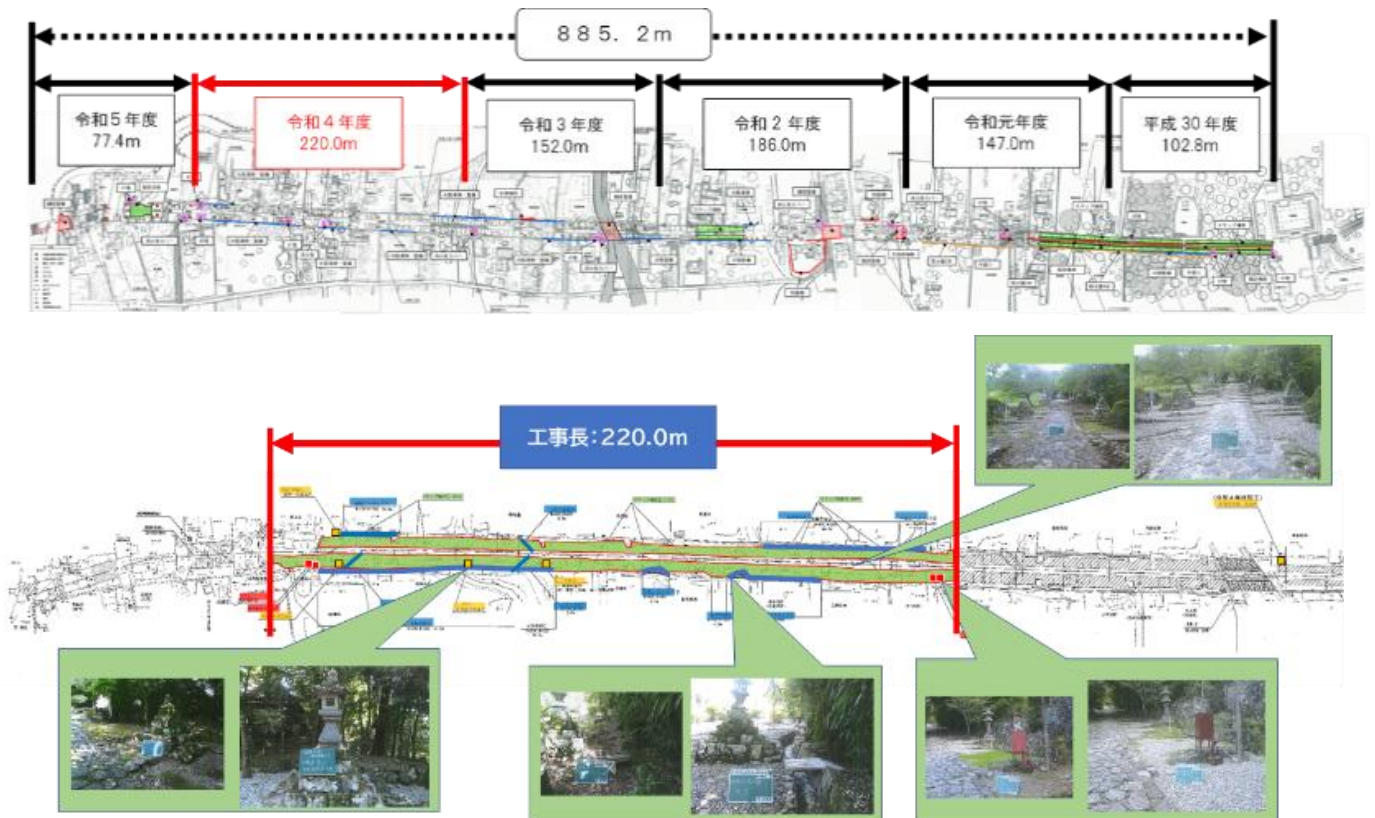
工事内容については、予定どおり施工(6/9～11/30)。  
令和3年度施工分の地先である増了坊付近から銅鳥居付近までの延長220mの保存・修景整備を実施した。

町道英彦山線整備工事	水路工 L=63.1m ステップ補修 A=1,389 m <sup>2</sup>
町道英彦山線ストリートファニチャー整備事業	消火栓カバー撤去・設置 N=2基 消火栓塗装 N=3基 灯籠積直し N=6基 取水管撤去 L=231.4m

進捗状況	実施・検討にあたっての課題と対応方針
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

本年度工事長 約220.0m【総工事完了(R4を含む)長:807.8m/全体(885.2m)=完了率:91.26%】





評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項	目	評価対象年度	令和4年度 現在の状況
中島家住宅活用整備事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成27年度～令和5年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 策定した保存活用計画に基づき、文化財未指定の蔵や庭園等と併せて、駐車場等の便益施設の整備を実施する。また、円滑な公開活用のために、施設説明板等の整備とパンフレットの作成も併せて行う。

定性的・定量的評価

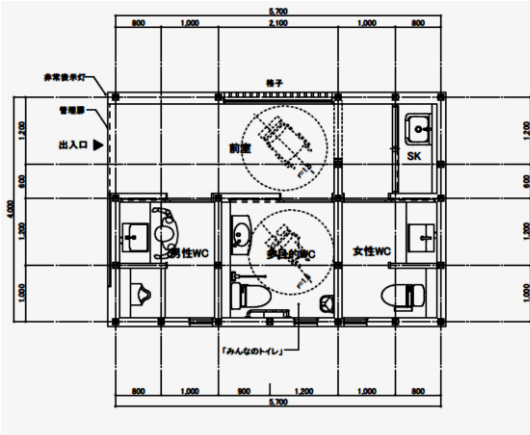
添田本町等地区憩い広場(中島家住宅駐車場)において、令和3年度に行った測量設計をもとに本年度中に整備工事が完了するよう、12月に工事受託事業者との契約を交わすも、各種調整から2月中旬着工となり年度を跨いだ繰越工事となった。本年度より新たに取組みを行っている「トイレ棟」及び「受付管理棟」においては、予定どおり令和5年度の工事着工に向けて、周辺街並みや「中島家住宅」との連動性を保つためのデザイン等による実施設計を完了した。

進捗状況	実施・検討にあたっての課題と対応方針
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	添田本町等地区憩い広場整備工事において、工事期間が再延長とならないよう、受託事業者との連絡を密に行い、進捗状況の把握に努める。

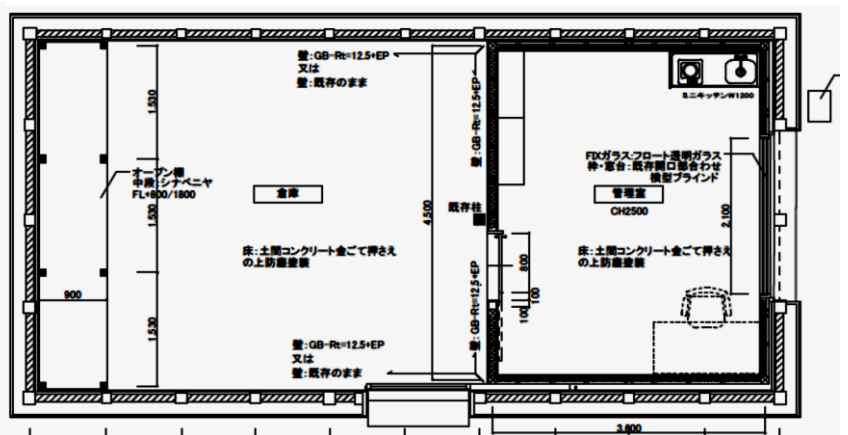
状況を示す写真や資料等



憩い広場整備イメージ図



平面図 1/50 床面積: 22.80㎡(6.89坪)



トイレ棟・受付管理棟(土蔵)の設計図  
(案)

## 評価軸③-3

## 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度 現在の状況
中村家住宅保存活用整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成31年度～令和5年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 町が所有(平成23年取得)する「町指定文化財 中村家住宅」を、歴史的風致形成建造物に指定し、保存修理や公開活用のための整備を実施する。  
また、円滑な公開活用のため、施設説明板等の整備とパンフレットの作成も併せて行う。

## 定性的・定量的評価

保存整備後の活用方針が見いだせなかったことから、保存修理工事が未着手となっているが、定期的な点検を行いつつ、関係各課による活用方針等の検討を行った。

令和2年度に「サウンディング型市 実施・検討にあたっての課題と対応方針

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

今後、当面の維持が可能となるための、補修の実施について検討を行いつつ、活用方針等の検討を引き続き行っていく。

## 状況を示す写真や資料等



端部分から腐朽している躯体



漆喰が崩落し、下地壁が見えている壁面





評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項 目	評価対象年度	令和4年度 現在の状況
添田公園整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和4年度～令和5年度

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容 岩石城が立地していた岩石山麓の山谷林泉の美しさを活かして開園した添田公園について、散策路の再整備とともに未整備となっている散策路の整備を行い、快適で安全な歩行空間を整備する。

定性的・定量的評価

都市公園所管係において、『添田町都市公園長寿命化計画』を策定し、今後、当計画に基づき、安全性の向上と適切な維持管理に向けたライフサイクルコストの縮減を図ることとしている。

進捗状況 実施・検討にあたっての課題と対応方針

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

**第1章 公園施設長寿命化計画の概要**

**1. 計画策定の背景**

我が国では、高度経済成長期に整備された公共施設の老朽化が急速に進行しており、限られた財源の中で適切な維持管理を行うことが施設管理者の喫緊の課題となっています。このような状況を踏まえ、国土交通省は平成 25 (2013) 年 11 月に「インフラ長寿命化基本計画」を作成し、国民の安全・安心の確保や中長期的な維持管理・更新等に係るトータルコストの縮減等の方向性を示し、国や地方公共団体等が一丸となってインフラの戦略的な維持管理・更新等の推進を目標としています。

国では、地方公共団体等による長寿命化計画に基づく都市公園の計画的な維持管理の取り組みが行われるよう、平成 24 (2012) 年 4 月に、ライフサイクルコスト削減効果の算定・比較方法、使用見込み期間の考え方、保全対策の内容や健全度判定の根拠等、公園施設の長寿命化計画に関する基本的な計画策定の考え方をとりまとめた「公園施設長寿命化計画策定指針(案)」を作成し、指針策定以降の長寿命化対策の蓄積を踏まえて平成 30 (2018) 年 10 月に指針の改定を行い、公園施設の計画的な取り組みを推進しています。

加えて、平成 30 (2018) 年 4 月には都市公園法の改正に伴い、新たに公園維持管理標準基準(平成 30 (2018) 年 4 月)が定められ、施設管理者による安全対策の一層の徹底が求められています。

**2. 計画策定の目的**

添田町(以下「本町」といいます。)で管理する都市公園は、令和 4 (2022) 年度 4 月 1 日現在で、6 箇所(総合公園 5 箇所、街区公園 5 箇所)となっています。都市公園の指示から 30 年以上経過している公園が 6 箇所のうち 5 箇所となっており、施設の老朽化が進行していく中、今後、必要となる施設の修繕・更新費用の増大が課題となることが想定されます。このような状況から、安全で安心、そして快適な公園施設の利用を確保するため、添田町都市公園長寿命化計画(以下「本計画」といいます。)を策定するものとします。

公園施設長寿命化計画とは、本町が管理する公園の遊具や施設について、公園利用者のさらなる安全性確保及びライフサイクルコスト削減の観点から、適正な施設点検や維持管理等の予防保全管理を行い、施設の長寿命化対策及び計画的な修繕、改築、更新を行うことを目的とします。

計画の策定に際しては、「公園施設長寿命化計画策定指針(案)」(国土交通省都市局公園緑地・景観課)に定められた項目に準じて実施します。


**3. 計画期間**

本計画は、令和 5 (2023) 年度から令和 14 (2032) 年度までの 10 年をライフサイクルコスト算出の基本期間とし、令和 14 (2032) 年度までの 10 年間の計画策定を行います。なお、公園施設利用者の変化等により、本計画の見直しが必要になった場合は、適宜見直すこととします。

**4. 対象公園施設**

**1) 添田公園の概要**

添田公園は、岩石山のおつ山谷林泉の美しさを活かして昭和 6 (1931) 年に都市公園として開園した公園です。峰地炭鉱を興した職内氏の別荘であった久良知妙真は、不動池やその周辺の岩石山の山麓に地蔵尊を祀り、不動池周辺の霊場敷地整備を行い、大日寺として完成させました。公園の東高側に不動池があり、この水が公園の南側に位置する不動池に流れ込み、西側に流れて不動川となっています。不動池は、高さ約 30m、幅約 2m でその水は清冷で、岩に砕けて飛沫する様子は盛夏でも涼を覚えます。また、不動池周りに多数植えられた椿の古木をはじめ、2,000 本余の椿、4,000 株余のつつじが春夏を彩り、秋には山麓の紅葉、麓、ハゼなどが緑色に輝き、園地から添田本町地区への動線は趣のある情景を醸し出しています。この風光明媚な情景は、岩石山の軽登山とともに多くの人々が訪れるハイキングコースとして活用されています。しかし、開園から時間が経ったことにより散策路が老朽化するともに、散策路が未整備となっている状況も影響し、来園者が減少している状況です。



添田町民運動場、添田町体育館、添田神社、白山神社、不動川、不動池、不動尊、昔の橋、ふれあいの園(まえばし公園)

添田公園周辺図  
資料：添田町歴史的風致維持向上計画




写真 不動池




写真 平泉大門

添田町公園施設長寿命化計画(素案)



評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項	目	評価対象年度	令和4年度 現在の状況
公共施設修景整備事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成29年度～令和5年度

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容 特徴的なデザインで、周囲の景観を阻害しているスロープカー花駅(旧英彦山小学校校舎)について、周辺景観と調和した材料・色彩で覆う等の修景整備を行う。

定性的・定量的評価

昨年度同様、スロープカーの運行区間に係る検討の結論がなされていないことから、当該施設全体の最終的な活用・運用方針が定まっていないため、本事業の実施の検討に至ることができなかった。  
 また、人目に触れにくく、所在地が分かりにくい場所にある「英彦山修験道館」の展示物を英彦山スロープカー花駅に移設することなどを踏まえて、庁内関係各課においての検討を図った。

進捗状況	実施・検討にあたっての課題と対応方針
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	英彦山スロープカーにおいて車両更新を行っていることに伴い、新たな観光客の増加も予想されることなどから、当該施設への「英彦山修験道館」機能の移管について、検討を行っていく。

状況を示す写真や資料等



スロープカーの運行区間(スロープカーホームページより)

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項 目		現在の状況
案内板等整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成27年度～令和5年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 歴史的建造物等に設置されている案内板や誘導サインのうち、経年劣化等により風情・景観を阻害しているサインを除去するとともに、未設置の資源及び交通結節点等に、デザイン方針に基づいた案内板等を設置する。

定性的・定量的評価

策定済の添田町公共サインガイドラインに基づき、重点区域である英彦山区域内に設置1か所、撤去2か所の整備を行った。(令和4年10月24日竣工)

進捗状況 実施・検討にあたっての課題と対応方針

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

令和4年度施工箇所

種別	箇所数	施工箇所
設置	1か所	スロープカー花駅入口
撤去	2か所	スロープカー花駅入口、英彦山野営場内

H27～R4分の進捗率 82.86% R4までの58ヶ所(設置:28+撤去:30)/全体計画:70ヶ所(設置・撤去)



旧サイン

スロープカー花駅入口

新サイン



撤去前



英彦山野営場内



撤去後



評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項 目		評価対象年度	令和4年度 現在の状況
普及啓発イベント事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成26年度～令和5年度

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容 本町に点在する歴史文化遺産に対する認識向上と併せて、歴史文化遺産を活かしたまちづくりや歴史的風致維持向上計画の推進のため、勉強会や講演会等を開催する。

定性的・定量的評価

福岡県下における「まん延防止等重点措置」や「感染再拡大防止対策」をはじめとする取組みにより、『歴史的風致報告会』については、参加者等の安全を考慮し断念し、「歴史的風致維持向上計画」の令和3年度の進捗評価は、例年どおり町ホームページへの掲載により周知を図った。

また、令和4年2月より一般公開している「国指定重要文化財 中島家住宅」では、地域の有志による「ひな人形展」等、様々な展示会が行われてきた。

また、福岡県内の国指定名勝所在市町で組織している「福岡県市町村名勝庭園協議会」主催による庭園見学会を添田町で開催(8/28・12/4)した。今回の見学会は、通常公開していない九州大学生物学実験施設内にある旧座主院の庭園見学であったことから、参加者からも大変好評であった。

進捗状況	実施・検討にあたっての課題と対応方針
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	昨年に引き続き、コロナウイルスのまん延状況から、歴史・文化に関するイベントだけでなく、町の行事・イベントのほとんどが中止となった。 今後も、コロナ禍での生活・コロナとの共存を余儀なくされるため、歴史・文化及び歴史的風致維持向上計画に対する認識向上の取り組み手法等を検討する必要がある。

状況を示す写真や資料等



ひな人形展



水彩画展



えびす華の会作品展

地域の有志による展示会の様子



参加者募集チラシ



修験道館での見学前ゼミ(R4.8.28)



旧座主院庭園の見学(R4.12.4)

庭園見学会(「福岡県市町村名勝庭園協議会」主催)の様子



評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項 目	現在の状況	
歴史的古文書保存活用事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成28年度～令和5年度

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容 文化財に指定されていない古文書等の補修を行うとともに、デジタルデータ化し後世への継承と歴史文化遺産を活かしたまちづくりに活用を図る。

定性的・定量的評価

明治初期の町全体の土地の状況面積や形状を表しており、字図の原型ともいえる「大絵図」の現状調査と併せて、活用している関係課と保存活用手法の検討を行った。

進捗状況	実施・検討にあたっての課題と対応方針
------	--------------------

<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	当該古文書が大型かつ大量にあるため、必要性の高い地域から実施できるよう優先順位を検討することが必要。
--	--

状況を示す写真や資料等



大絵図の状況

上: サイズ確認

右: 劣化した大絵図

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項 目		現在の状況	
民俗芸能文化財等伝承支援事業・まちづくり団体育成支援事業・まちづくり団体設立支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成27年度～令和5年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容

**【民俗芸能文化財等伝承支援事業】**  
 神幸祭等の祭礼や神楽等の伝統芸能を行っている活動団体に対して、活動の維持や後継者育成に資する活動経費に対し、助成金を交付し支援する。

**【まちづくり団体育成支援事業】**  
 本町に点在する歴史文化遺産の保存ための活動や、歴史文化遺産を活用した活動を実践している団体に対し、活動経費を助成することにより、保護・活用の取り組みを推進・支援する。

**【まちづくり団体設立支援事業】**  
 歴史文化遺産を活かしたまちづくりを推進するには、行政の取り組みだけでなく地域住民等との協働による取り組みが必要不可欠であるため、歴史文化遺産の保存・活用に係る文化財保護・まちづくり団体の設立を支援する。

定性的・定量的評価

「まちづくり団体設立支援事業」は、平成27～29年度で実施済みであり、「民俗芸能文化財等伝承支援事業」及び「まちづくり団体育成支援事業」については、事前の補助金活用要望調査を行ったものの、要望がなかったため、本年は事業実施はなかった。

ただ、「まちづくり団体設立支援事業」で設立され、令和2年度まで「まちづくり団体育成支援事業」を活用していた『英彦山門前同好会』では、「参道マルシェ」・「ひこさんで冬あそび」等のイベント実施とともに、坊舎めぐりを促進するための御紫印帳の作製など、自立した活動を行っている。

進捗状況	実施・検討にあたっての課題と対応方針
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



英彦山参道マルシェ(R4. 11. 12～11. 13)



ひこさんで冬あそび(R5. 2. 12)



坊舎めぐり御紫印帳の作製

英彦山門前同好会の活動内容



評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項 目	現在の状況	
児童・生徒に対する意識向上推進事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成27年度～令和5年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 町内の小・中学校と協力しながら、後世への伝承者である児童・生徒に対し、添田町の歴史や歴史文化遺産に関する授業に取り組むためテキストを作成するとともに、授業への学芸員等の派遣や文化財の現地見学等により、本町の歴史文化への意識向上に資する取組みを実施する。

定性的・定量的評価

平成26年度に作成した歴史テキスト「知ってる 添田町」については、各小学校において授業での利用と併せて、図書館に配備するなど活用されている。  
 また、令和4年2月より公開を行っている国指定重要文化財中島家住宅や英彦山に関する授業などについては、町内の小学校からの依頼により3回(6/23・12/9・3/3)学芸員が現場や学校に赴いて説明を行い、児童・生徒の文化意識向上に繋がるよう取り組んでいる。

進捗状況	実施・検討にあたっての課題と対応方針
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

**日田道を歩いてみよう！**  
 ~かつてのメインストリート~ 令和4年12月9日 真木小学校 3年生

① 中島家住宅  
 ・国の重要文化財/江戸時代の建物  
 ・古い材料をそのまま利用  
 ・「酒屋」とよばれる商家  
 ・商品は「はぜろう」「しょうゆ」「お酒」など  
 ・大金持ち(地元へ寄付)

② 日田道  
 ・日田(大分県)と小倉(北九州市)を結ぶ道  
 ・英彦山への通り道  
 ・商店が多くあった  
 ・大正時代には「旗のトンネル」

③ 中村家住宅  
 ・町の指定文化財  
 ・大正時代の建物  
 ・「新屋」と呼ばれる商家  
 ・商品は「お酒」「しょうゆ」など

④ 岩石類  
 ・保元3(1158)年、平清盛の命令で大庭景親が作る  
 ・水が豊富で、見晴らしがよい  
 ・天正15(1587)年、豊臣秀吉にせめられる  
 ・元和元(1615)年、こわされる  
 ・サクラの名所

昔(過去) → 今(現在) → 先(未来)

添田小学校3年生による中島家住宅の見学(R5.3.3)

小学校の授業で使用されている歴史テキスト

フィールドワーク資料(中島家住宅周辺)  
真木小学校 3年生

小学校の授業で使用されている歴史テキスト



令和4年度進行管理・評価シート  
文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度 現在の状況
民間団体への助成・支援			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容  
 指定文化財の修理は、文化財保護法や福岡県、添田町の文化財保護条例に基づくとともに、文化庁や福岡県教育委員会、福岡県文化財保護審議会、添田町文化財専門委員会等の関係機関の指導を仰ぎつつ、それらと連携して実施する。また、所有者等の財政的負担の軽減を考慮し、各種補助制度を積極的に活用する。

定性的・定量的評価

【英彦山神宮による上宮修復に係る補助金支援】  
 英彦山神宮において、文化庁等の補助金を活用し、英彦山山頂(中岳)にある上宮について、昨年度の実施設計に基づき、本年度より、保存整備工事に着手し、令和4年度は、工事業者との契約、上宮の廃材撤去及び資材運搬用のモノレール設置等を行った。  
 町においては、助言とともに添田町文化財保護条例に基づく補助金により、費用の一部支援を行った。  
 【中元寺薬師如来等防犯設備維持管理に係る補助金支援】  
 県指定文化財「木造薬師如来坐像及び台座」、町指定文化財「十二神将12体」の防犯設備維持管理に係る費用に対し、添田町文化財保護条例に基づき支援を行った。

進捗状況	実施・検討にあたっての課題と対応方針
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



左：モノレール運行状況



英彦山神宮上宮修復工事  
中：運搬用モノレール



右：上宮内の現状



左：県指定文化財「木造薬師如来坐像」



右：安置している薬師堂に設置(H25)している防犯設

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項 目		現在の状況
民間団体と連携・協力した取組		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容  
 文化財のうち有形文化財は、経年劣化や災害等の外的要因によりき損したり、き損の進行による滅失をまねく恐れがあることから、日頃の維持管理を含めた予防対策と、き損した場合の適切な修理が求められる。  
 また、本町の文化財を保存・活用していくためには、添田町をはじめとする行政機関だけで取り組むことは難しく、地域において文化財の保存・活用に取り組んでいる団体と連携することは必要不可欠である。

定性的・定量的評価

令和3年12月に保存修理工事が竣した「国指定重要文化財 中島家住宅」において、「中島家住宅」が有する歴史的・文化的価値に対する町民理解を育み、併せて「中島家住宅」を通じて町民等が文化財に対する意識を高めるとともに、町民の訪れる交流の場としての賑わいを創出し、地域の活性化を図ることを目的として、民間事業者が持つ能力とノウハウにより効率的かつ効果的な質の高いサービスを図るため、令和5年度からの指定管理者候補事業者の募集及び選定を行った。  
 また、行政区による中島家住宅敷地の草刈りや、令和4年度においては、地元住民により構成された「町三さくら会」が中島家住宅の日常的管理を担っていた。  
 また、「観光ガイドの会」による財蔵坊の管理など、周辺に住む方・町内の保護団体による活動は活発化しており、今後もより一層の活躍が期待できる。

進捗状況 実施・検討にあたっての課題と対応方針

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	
--	--

状況を示す写真や資料等

内 容	期 間
要 項 等 の 公 表 (募集要項等の配布)	令和4年12月19日(月) (令和4年12月19日(月)～令和5年1月20日(金))
質 問 の 受 付	令和4年12月19日(月)～令和5年1月6日(金)
現 地 見 学 会 の 開 催	令和4年12月20日(火)～令和4年12月28日(水)
申 請 書 の 受 付 期 間	令和4年12月26日(月)～令和5年1月20日(金)
プレゼンテーション・ヒアリング	令和5年1月27日(金)



プレゼンテーションの様子

指定管理者候補事業者選定に係るスケジュール



左：地元行政区による中島家住宅敷地の草刈り



右：「添田町観光ガイドの会」による財蔵坊の管理

文化財保護団体等による指定文化財等の周辺環境整備



進捗評価シート

令和4年度進行管理・評価シート  
効果・影響等に関する報道

		評価対象年度	令和4年度
報道等タイトル	年月日	掲載紙等	
英彦山花ごよみ (シャクナゲ・紅葉などの英彦山に自生する植物の話題)	R4.4/2、4/4、 4/14、4/23、 5/19、6/19、 7/5、8/25、 9/21、10/20、 10/29、11/1、	西日本新聞、朝日新聞	
「国指定重要文化財 中島家住宅」の紹介	4/29、5/1	読売新聞、毎日新聞	
英彦山神宮の神事について	4/10、4/12、 1/3、2/4	西日本新聞、読売新聞	
英彦山庭園について	8/29	西日本新聞	
英彦山神宮改修工事に向けて	9/1	西日本新聞	
英彦山山頂付近雪化粧	12/16	西日本新聞	
重要文化財 中島家住宅の紹介	4/8	NHK北九州	
歴まちコラム ～歴史と文化のふる里探訪～			
江戸時代の地理学者 岡山県から英彦山への旅	令和4年4月号	町広報	
英彦山神宮銅鳥居 「英」の字と扁額の歴史	6月号		
名勝に指定されている英彦山の7つの庭園	8月号		
旧座主院の庭園見学会を開催	10月号		
製薬に励んでいた英彦山の山伏	12月号		
平安時代、遠く離れた京都でも名の知れた英彦山	令和5年2月号		

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

昨年度同様、コロナウイルスまん延防止等措置の影響受け、町のイベント同様に、各地域で行われる神幸祭等の伝統的活動は、中止・関係者にて執り行う祭典のみとなり、活動する歴史・文化の保護・活用団体のイベント等も軒並み中止となったことから、新聞等の掲載件数は例年より少なかった。

しかし、中島家住宅の公開が始まったことや、本年度より英彦山神宮上宮の保存修理工事が着工したことなどから、県内外を問わず多くの方からの問い合わせがあり、本町の文化的魅力を広域的に発信することができた。

また、町広報において、本町の歴史・文化を紹介する「歴まちコラム」は、平成27年から隔月で掲載しており、本年度は、「英彦山」関連の話題に特化して掲載し、本町の歴史・文化の周知を図った。

進捗状況	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等

歴まちコラム ～歴史と文化のふる里探訪～

図 左端からまづくり歴史文化財係(☎82-1236) 1-3くり歴史文化財係(☎82-1236) くり歴史文化財係(☎82-1236) まちづくり歴史文化財係(☎82-1236) まちづくり歴史文化財係(☎82-1236) 1-3くり歴史文化財係(☎82-1236)

**今**

「英彦山」の字が書かれた扁額が掛かっている。今頃はその扁額の歴史に詳しく触れたい。

**英彦山神宮銅鳥居 「英」の字と扁額の歴史**

国指定重要文化財である英彦山神宮の銅鳥居には、「英彦山」の字が書かれた扁額が掛かっている。今頃はその扁額の歴史に詳しく触れたい。

**名勝に指定されている英彦山の7つの庭園**

庭園内には、竹の庭園が唯一の「名勝」として文化財に指定されており、そのうちの1つが英彦山庭園です。今頃は「歴まちコラム」では、その「名勝」庭園を取り上げたい。

**旧座主院の庭園見学会を開催**

夏の暑さが過ぎ去り、庭園の魅力を広めるため、英彦山にある文化財の歴史を学ぶ機会を設けました。今頃は、英彦山神宮の歴史や文化財について、見学会の様子を取り上げたい。

**製薬に励んでいた英彦山の山伏**

明治時代の終わり頃まで、英彦山では山伏によって製薬が行われており、その製薬が数多く残っています。今頃は「歴まちコラム」では、その製薬の歴史について取り上げたい。

**平安時代、遠く離れた京都でも名の知れた英彦山**

「英彦山」の歴史は、平安時代から始まり、江戸時代を通じて、京都でも名の知れた英彦山として知られていました。今頃は、その歴史について取り上げたい。

**江戸時代の地理学者 岡山県から英彦山への旅**

前掲の「歴まちコラム」では、岡山県から英彦山へ旅行に出かけた人の足跡を追って、町内での様子や、英彦山神宮の歴史について取り上げたい。

町広報に掲載した『歴まちコラム』

R5. 2月号      R4. 12月号      10月号      8月号      6月号      4月号

著作権保護のため、新聞記事は掲載していません。



項目

「添田町歴史的風致維持向上計画」掲載事業の進捗状況

計画に記載している内容 (計画に記載なし)

定性的・定量的評価

「添田町歴史的風致維持向上計画」に掲載している21事業の令和4年度末における進捗状況としては、完了事業が6事業、継続事業が9事業、未着手事業が5事業となっている。

進捗状況

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

事業名		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
英彦山神宮参道保存整備事業	計画										
	実績										
中島家住宅保存活用計画策定事業	計画										
	実績	完了									
中島家住宅保存修理事業	計画										
	実績								完了		
中島家住宅活用整備事業	計画										
	実績										
中村家住宅保存活用整備事業	計画										
	実績										
英彦山区域歴史的風致形成建造物修理事業 添田本町等区域歴史的風致形成建造物修理事業	計画										
	実績										
添田公園整備事業	計画										
	実績										
公共施設修景整備事業	計画										
	実績										
眺望広場整備事業	計画										
	実績										
英彦山神宮参道修景整備事業	計画										
	実績										
英彦山地区再興整備方針策定事業	計画										
	実績			完了							
案内板等デザイン方針策定事業	計画										
	実績	完了									
案内板等整備事業	計画										
	実績										
添田本町・岩石山・添田公園周遊マップ作製事業	計画										
	実績		完了								
普及啓発イベント事業	計画										
	実績										
歴史的古文書保存活用事業	計画										
	実績										
民俗芸能文化財等伝承支援事業	計画										
	実績										
まちづくり団体設立支援事業	計画										
	実績										
まちづくり団体育成支援事業	計画										
	実績										
児童・生徒に対する意識向上推進事業	計画										
	実績										

: 主体整備実施済
 : 間接実施済(活用・助言等)
 : 主体整備予定
 : 間接実施予定(活用・助言)

令和4年度進行管理・評価シート	令和4年度
法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称：第18回 添田町歴史的風致維持向上計画推進協議会	
会議等の開催日時：令和5年3月22日(水) 13:30~15:30	
<p>(コメントの概要)</p> <p>Q1: 歴史的風致形成建造物修理事業について、現状はどうなっているのか？また英彦山地区での候補地はどこか？</p> <p>Q2: 地域の祭りや古くから伝えられた踊りの継承について、高齢化の進行や後継者不足が課題として挙げられる。 今後、町からの支援が必要な団体が増加してくることが予想されるが、どのように考えているか？</p> <p>Q3: 修景整備という観点において、高齢化が進行する本町では、今後空き屋の増加が予想される。周囲の景観とそぐわない建物が建っても規制するものがなく、まちなみを守るためにデザインなどの条例が必要なのではないのか。</p> <p>Q4: 国指定重要文化財 中島家住宅において、令和5年4月より指定管理者による運営を開始することだが、どのような業務内容なのか？ また、指定管理者による運営の開始後の地域との関わりは、どのように考えているのか？</p>	
<p>(今後の対応方針)</p> <p>A1: 英彦山地区では、坊舎跡を歴史的風致形成建造物候補物件としている。 しかし現状として、事業に関する説明や補助金の活用が可能(所有者負担1/3)の旨、説明を行ってきているが、所有者が高齢であることや町内に居住していないことなどから理解が得られず、指定に至っていない。 今後も継続して、本事業に関する説明を行っていく。</p> <p>A2: 少子高齢化の進行が著しい添田町において、町内全域において同様であり、町も課題として捉えている。 第2期歴史的風致維持向上計画では、本課題についても取り組んでいかなければと考えている。 今後、第2期計画策定時において、委員の皆様からご意見をいただきたい。</p> <p>A3: 現在、添田町景観計画(仮称)の策定に取り組んでおり、令和5年度中には策定完了予定である。計画策定後は景観条例に沿ってまちなみを守っていきたいと考えている。</p> <p>A4: 国指定重要文化財 中島家住宅の運営の前提として、重要文化財を守り、そして後世へと繋いでいくことができるような運営を行うよう、町と指定管理者との協議を行った。上記以外の業務内容としては、誘客促進に関する業務や町内の観光や文化財に関する簡易的な案内等、中島家住宅を通して町民の文化的意識の向上を期待できるような運営を行っていただきたいと考えている。 指定管理者は、地元の方を従業員として採用する等、地域の方々との関りは最も大切にしていきたいという思いがあり、町においても今後も継続して関わりを大切にしたいと思っている。</p>	